

令和2年度 四日市港管理組合当初予算の概要

1 予算編成の考え方

四日市港管理組合の予算は、事業の選択と集中を図り、「四日市港戦略計画 2019～2022」の取組を着実に推進することを基本方針として編成しました。

2 予算の規模

令和2年度四日市港管理組合当初予算は以下のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	元年度当初予算	2年度当初予算	増 減 額	伸 び 率
一 般 会 計 (県 市 負 担 金)	5,092,082 (2,750,592)	5,104,231 (2,662,371)	12,149 (△88,221)	0.2 (△3.2)
港湾整備事業 特別会計	3,681,881	2,914,358	△767,523	△20.8
合 計	8,773,963	8,018,589	△755,374	△8.6

(1) 一般会計

一般会計の予算総額は51億423万1千円で、令和元年度当初予算額と比較すると1,214万9千円の増加となっています。

これは、台風等の自然災害に備え、新たに災害復旧費を1億円計上する一方、公債費が5,794万5千円減少することなどによるものです。

(2) 港湾整備事業特別会計

特別会計の予算総額は29億1,435万8千円で、令和元年度当初予算額と比較すると7億6,752万3千円の減少となっています。

これは、2C及び2D上屋の耐震補強等改修工事が令和元年度で完了すること等により、建設事業費が5億177万8千円減少することなどによるものです。

3 主な取組

四日市港管理組合は、「四日市港戦略計画 2019～2022」の3つの政策に基づき取組を進めてまいります。

政策1 物流を支援する港づくり

四日市港は、原油、LNG、石炭をはじめとした多くのバルク貨物やコンテナ貨物等を幅広く取り扱う総合港湾であり、今後も製造業を中心とした中部圏の産業を物流面から支えていく必要があります。

一方で、長い歴史を有する港であることから、老朽化に伴う施設の機能低下への対策も進めていかなければなりません。

このような認識のもと、企業ニーズに対応した港湾サービスや港湾施設の充実を図る取組を進めます。

港湾サービスについては、コンテナ貨物のさらなる集荷拡大を図るため、荷主企業のニーズの集約・分析を進め、四日市港利用促進協議会を核とした官民連携によるポートセールスを展開するとともに、補助制度を継続します。

港湾施設については、霞ヶ浦南埠頭における完成自動車やコンテナ貨物の取扱機能を維持・向上させるため岸壁及び荷さばき地の改良・補修工事を行うとともに、霞ヶ浦北埠頭の整備に向けた準備を進めていきます。また、地震、津波、高潮等の災害に強い港づくりに向けて、コンテナクレーン走行モーター等の嵩上げや上屋耐震補強工事等を行います。

<主な事業>

施策101 企業ニーズに対応した港湾サービスの充実

- ・荷主企業四日市港利用支援事業補助金等（ポートセールス事業費） 116,485千円

四日市港の利用拡大に向けて、四日市港で新たに外貿コンテナ貨物を取り扱う荷主企業及び外貿コンテナ取扱個数を一定量以上増加させた荷主企業への支援を行います。

（この補助金のほかに「船会社集荷促進事業補助金」及び「基幹航路等コンテナ船寄港誘致事業補助金」があります。）

- ① 霞ヶ浦南埠頭 61号岸壁補修（単独港湾施設維持補修費） 12,000千円

令和2年12月から開始予定のLNGバンカリングが円滑に行えるよう、岸壁の補修を行います。

※事業名の右の○数字は、施行箇所図の位置を示しています。

施策 102 企業ニーズに対応した港湾施設の充実

- ①・霞西 11・12・13 号荷さばき地舗装（港湾施設改修費）② 250,000 千円

〔経年劣化が進んでいる施設の機能を維持するため、荷さばき地の舗装を行います。〕

- ③・霞ヶ浦北埠頭関連 (合計 180,000 千円)

霞ヶ浦北埠頭 81 号岸壁等整備（国直轄事業負担金）③ 100,000 千円

霞ヶ浦北埠頭用地整備（港湾施設改修費）④ 80,000 千円

〔コンテナ取扱機能の高度化・効率化や災害対応力の強化等を図るため、霞ヶ浦北埠頭の整備に向けた準備を進めます。〕

- ・霞ヶ浦南埠頭 24 号岸壁改良（国直轄事業負担金）⑤ 180,000 千円

〔完成自動車等の貨物の取扱機能の維持・向上及び荷役作業の安全性を確保するため、供用から概ね 40 年が経過している岸壁の改良を行います。〕

- ・霞ヶ浦地区コンテナクレーン N-3 号機走行モーター・冷凍コンテナ用
コンセント嵩上（国補港湾施設整備事業費）⑥ 140,100 千円

〔高潮等による浸水時にコンテナターミナル機能を維持するため、コンテナクレーンの走行モーター部及び冷凍コンテナ用コンセントの嵩上を行います。〕

- ・霞 1 号上屋耐震補強等改修（港湾施設改修費）⑦ 130,988 千円

〔耐震性確保及び長寿命化を図るため、上屋の改修を行います。〕

- ・霞ヶ浦南埠頭 27 号岸壁改良（国補港湾施設整備事業費）⑧ 100,000 千円

〔外貿コンテナを取扱貨物として、供用から 40 年以上が経過し、老朽化が進んでいる岸壁の機能を維持するため、予防保全を行います。〕

政策2 人流を創出する港づくり

近年のクルーズ需要の高まりを契機として、四日市港を県民・市民にとってより親しみのある空間とするため、交流拠点としての魅力の向上を図る必要があります。

このため、市街地に近い四日市地区においては、客船等の受入、港まつりなどのイベントの実施、千歳運河沿いの緑地整備等の取組を進めるとともに、歴史的・文化的価値を有する同地区を四日市港の交流空間の中心として、市街地と連携したみなとまちづくりを進めるため、関係機関と連携し「みなとまちづくりプラン」を策定します。

また、霞ヶ浦地区においても、ポートビルを拠点として交流機会の充実に取り組むとともに、四日市地区で受け入れられない大型の外国客船を受け入れます。

<主な事業>

施策201 親しまれる港づくりに向けた交流機会の充実

- | | |
|--|----------------|
| ・客船の受入関連 | (合計 13,536 千円) |
| 会場設営及び管理業務委託（イベント・交流事業費） | 4,501 千円 |
| 四日市港客船誘致協議会負担金（イベント・交流事業費） | 1,500 千円 |
| 警備及びシャトルバス運行業務委託等（港湾荷役支援推進費） | 7,535 千円 |
| 〔 四日市港客船誘致協議会に参画し、客船の誘致活動を行うとともに、客船寄港時の乗船客及び見学者の安全性や、港湾荷役作業の安全性及び効率性が確保されるよう、必要な対策を講じます。 〕 | |
| ・ポートビル展望展示室の運営委託等（展望展示室運営事業費） | 8,978 千円 |
| 〔 四日市港が県民・市民に親しまれるよう、その中核施設としての展望展示室の適切な運営及び展示施設の保守管理を行います。 〕 | |
| ・四日市港まつり実行委員会負担金（四日市地区振興事業費） | 8,550 千円 |
| 〔 県民・市民に四日市港の魅力にふれていただく機会となるよう、多様な主体と連携して、四日市港まつりを開催します。 〕 | |
| ⑨ ・「みなとまちづくりプラン」の策定（企画調査費） | 4,500 千円 |
| 〔 市街地と連携したみなとまちづくりを進めるため、四日市市などの関係機関と連携して「みなとまちづくりプラン」を策定します。 〕 | |

施策 202 親しまれる港づくりに向けた交流空間の充実

- ・千歳運河緑地整備関連 (合計 253,025 千円)
 - 4号物揚場護岸改修 (社会資本総合整備事業費) ⑨ 50,025 千円
 - 5号物揚場護岸改修 (単独港湾施設整備事業費) ⑩ 203,000 千円

〔 景観等に配慮した緑地(交流空間)となるよう、老朽化の進んだ四日市地区千歳運河沿いの物揚場の護岸改修を行います。 〕

- ⑨・緑地及び公園内屋外便所改修 (単独緑地維持補修費) 23,000 千円

〔 公園等利用者の利便性を向上させるため、老朽化・陳腐化した屋外便所3棟の洋式化を含めた改修を行います。 〕

- ・案内板整備 (社会資本総合整備事業費) 5,300 千円

〔 中心市街地から港への快適で安全なアクセスルートを示すため、四日市地区に案内板の設置を行います。 〕

政策3 地域を守る港づくり

四日市港においては、災害から背後地の住民・企業や港の利用者の生命・財産を守り、被災後には速やかに背後地の復旧・復興を支える港となるよう、防災・減災の取組を進めています。

特に、地震・津波・高潮等の災害から背後地の住民や企業を守るため、日頃から海岸保全施設の点検・補修等の適切な維持管理を行い、老朽化した施設や危険性が高い施設については、計画的な整備を進めます。

また、改正SOLAS条約に対応した入出管理を適切に実施するとともに、保安設備の適切な維持管理を行います。

環境面では、港湾区域の水質等の調査を実施し、水環境の保全を行います。加えて、放置艇対策としてプレジャーボート等の管理を行います。

<主な事業>

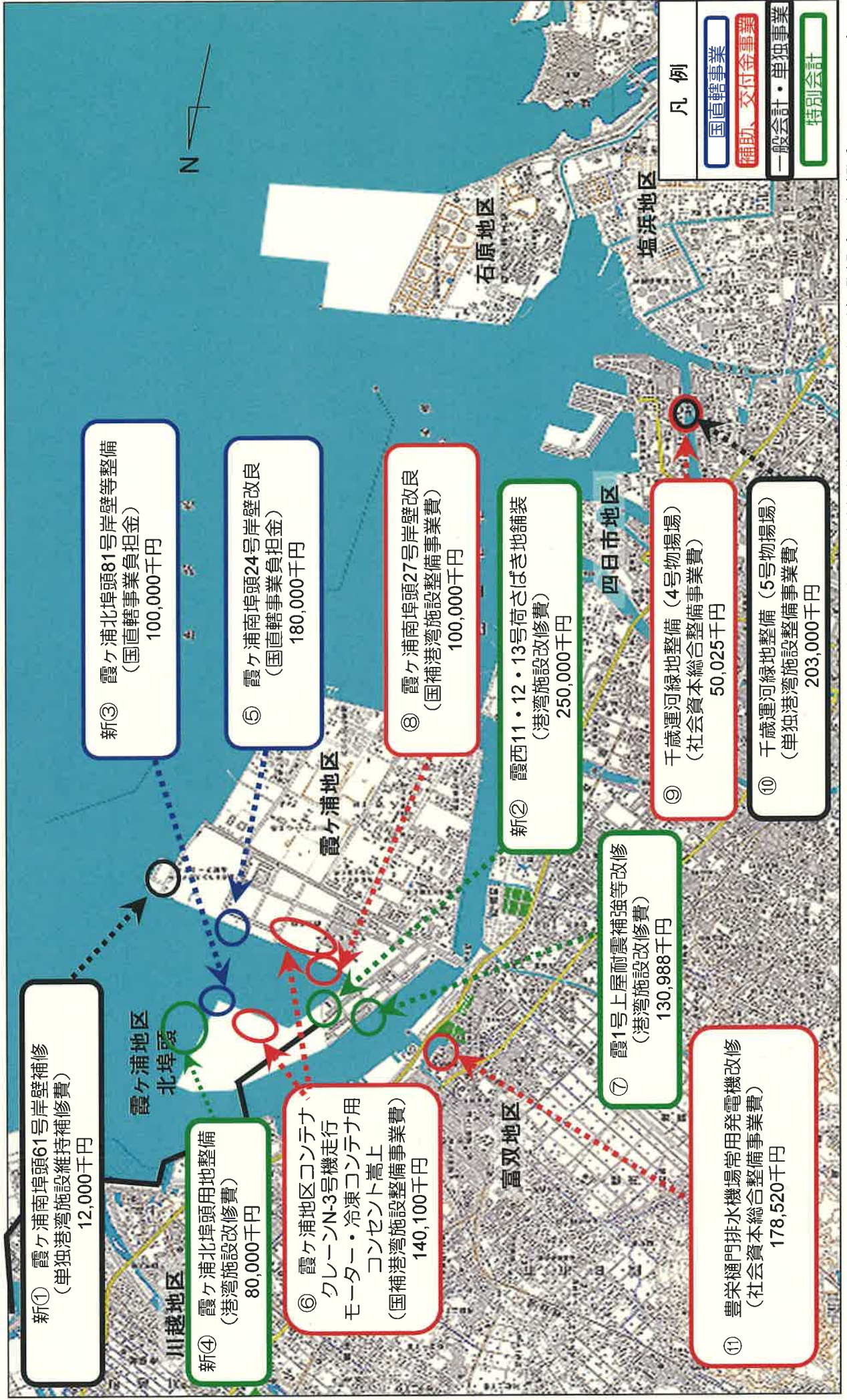
施策301 安全・安心を守る仕組と施設の充実

- ・豊栄樋門排水機場常用発電機改修（社会資本総合整備事業費）⑪ 178,520千円
〔 富田港地区において、高潮等による被害を防止するため、豊栄樋門排水機場の常用発電機の改修を行います。 〕
- ・四日市港重要国際埠頭施設警備保安業務委託等（改正SOLAS条約対策推進費） 74,051千円
〔 港内の重要国際埠頭施設等への不審者や不審物等の侵入を防止し、港湾活動の安全性の確保を図るため、警備や保安設備保全点検等を行います。 〕
- ・上屋防潮扉補修等（港湾施設維持補修費） 21,100千円
〔 高潮等による被害を防止するため、港内の上屋防潮扉の保守点検や補修を行います。 〕

施策302 環境を守る機会と空間の充実

- ⑫ ・プレジャーボート対策（放置艇対策推進費） 13,848千円
〔 沈没船化等により、港内における船舶の通行障害や環境悪化をもたらす放置艇をゼロにするため、条例に基づき、プレジャーボート等の適正な留保管の実現に向けた対策を行います。 〕
- ・環境保全対策（環境調査推進費） 5,549千円
〔 港内の水質等の状況を把握するため、環境調査を行います。 〕

令和2年度 当初予算主要事業施行箇所図



(注) 国直轄事業については、管理組合の負担金ベースです。